

⑨日本国特許庁
公開特許公報

⑩特許出願公開
昭53—51100

⑤Int. Cl.²
E 05 B 29/04

識別記号

⑥日本分類
135 B 52

庁内整理番号
7322—26

④公開 昭和53年(1978)5月10日

発明の数 2
審査請求 未請求

(全 7 頁)

④錠集成体

①特 願 昭51—123014
②出 願 昭51(1976)10月15日
⑦発 明 者 ジェイムス・エイ・ミレット
アメリカ合衆国カリフォルニア
州92708フオンテイン・バレー・
ファイアストーン・コート18143
同 ジェイムス・ダブリユウ・レイ
モンド
アメリカ合衆国カリフォルニア

州92660ニューポート・ビーチ
・ポート・マーゲイト・プレイ
ス1801
⑦出 願 人 ジェイムス・ダブリユウ・レイ
モンド
アメリカ合衆国カリフォルニア
州92660ニューポート・ビーチ
・ポート・マーゲイト・プレイ
ス1801

⑧代 理 人 弁理士 門間正一

明細書の淨書(内容に変更なし)
明 細 書

1 発 明 の 名 称

錠集成体

2 特 許 請 求 の 範 囲

1) その内面に少なくとも1つのポケット部を持つハウジングと、該ハウジング内に回転自在に装着されており、当該径の縦軸線に沿って互いにずれた半径方向に伸びる複数の溝孔を持つ掛金制御用支持径と、該径内の溝孔に夫々装着されており、錠集成体を鎖錠状態に保持する為、前記ハウジング内の前記少なくとも1つのポケット部内へ移動する様に前記溝孔の中で揺動自在である複数の細長い扁平板状揺動部材と、夫々前記支持体内の溝孔に装着されて特定の符号模様で夫々の揺動部材と縁で係合し、当該錠従動部材の符号模様と合う符号模様を持つ鍵を挿入すると、錠従動部材が全ての揺動部材を前記少なくとも1つのポケット部から後退させる様になつている同じ複数の扁平板状錠従動部材とを有し、前記揺動部材及び錠従動部材は互

いに係合する様な鎖錠状態を持ち、更に、前記支持体上に取付けられていて錠従動部材及びハウジングの内面の間でハウジング内に介在配置され、錠の通常の動作中、錠従動部材を夫々の揺動部材と係合した状態に保持すると共に、当該保持棒が前記ハウジング内の前記少なくとも1つのポケット部に入る様なハウジング内の設定し直し用角度位置へ径を廻した時、錠従動部材から解放する保持棒を有する錠集成体。

付加

2) 特許請求の範囲 1)に記載した錠集成体に於て、前記径及びハウジングに設けられていて、通常は径の角度方向の移動を制限し、径を設定し直し用の位置へ廻すことが出来ない様にするストップ手段と、ハウジング内に取付けられていて、前記径を前記ストップ手段が作用しない位置から該ストップ手段が作用する位置へと縦方向に偏圧する弾性手段とを有し、この為、前記径が弾性手段に逆つて縦方向に移動すると、ストップ手段が解放されて、保持棒が前記少なくとも1つのポケット部に入る設定し直し用の

46, 52, 54 : ボケット部

50 : 揺動部材

70 : 従動部材

特許出願人 ジェイムス ダブリン・レイモンド

代理人弁理士 門 間 正 一

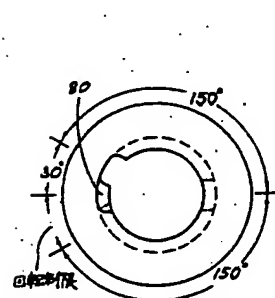
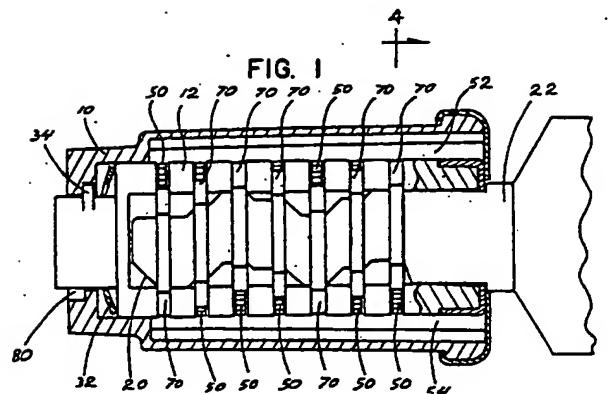


FIG. 3

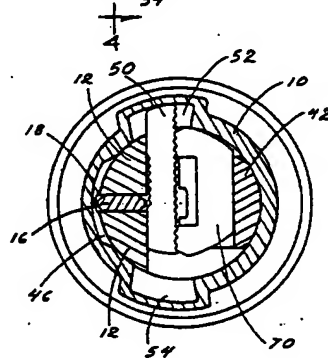


FIG. 4

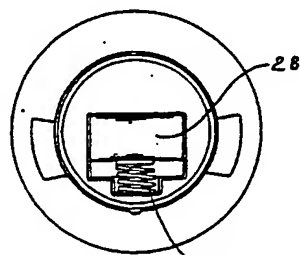
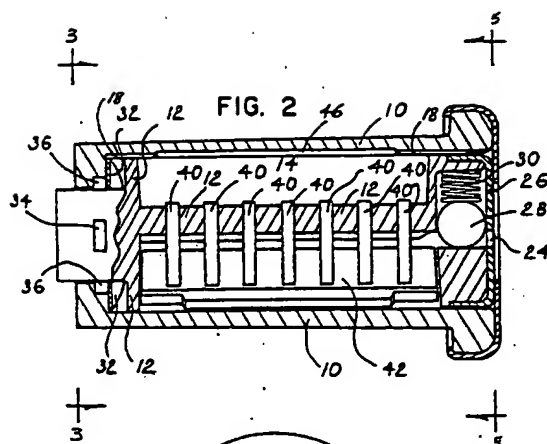


FIG. 5

FIG. 6

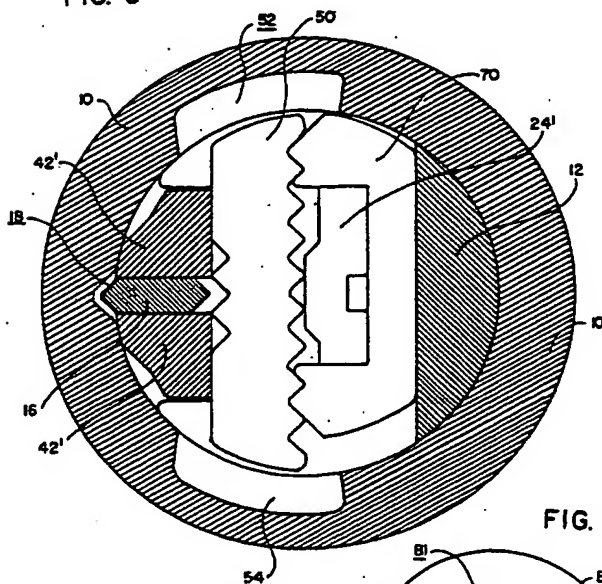


FIG. 9

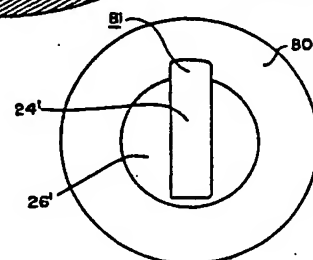


FIG. 7

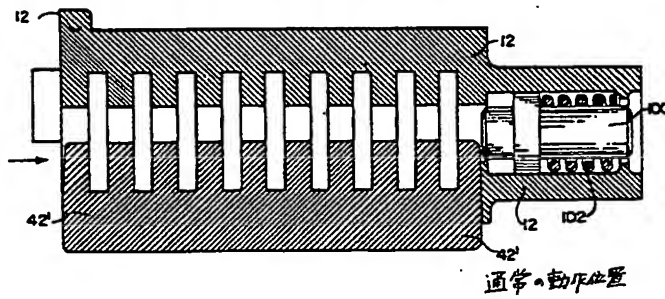
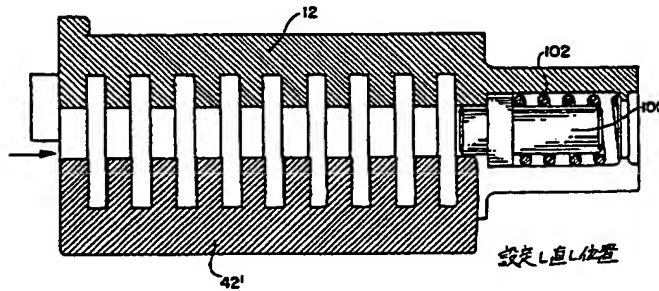


FIG. 8



手続補正書 (自発)

昭和51年11月12日

特許庁長官 片山石部 殿
(特許庁審査官 殿)

1. 事件の表示

昭和51年 特許 願第 123014 号

2. 発明の名称

錠集成体

3. 補正をする者

事件との関係 特許 出願人

ジェームス グラウ・レイモント

4. 代理人

〒107 東京都港区赤坂2丁目2番21号 第26森ビル301号

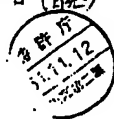
弁護士 門 間 正 一

コード第6380号 電話586-3677番 (代表)

5. 補正命令の日付 昭和 年 月 日 (自発)

6. 補正の対象

請求明細書 1通



7. 補正の内容

別紙の通り請求明細書1通を提出します。
(但し内容についての変更はありません)

8. 添付書類

(1) 請求明細書 1通